

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《引き続き予断を許さない生乳需給～新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について～》

・本日、政府は39県で緊急事態宣言を解除する見通しとなっており、該当地域では学校や飲食店等が徐々に再開されると見込まれるが、大消費地の首都圏や関西圏を含む8都道府県については今月末まで延長となることから、引き続き業務用を中心とした需要の停滞が続くため、需給調整が予断を許さない状況にあることは変わらない。

・また、農林水産省の「プラスワンプロジェクト」を始め、各般において積極的な家庭内消費の拡大を促進する取り組みが実施され、ニュースやSNSでも大きく取り上げられたことが奏功し、家庭内消費については好調を維持してきたが、以下に示すとおり、ゴールデンウィークと重なる直近(5/4週)については、前週(4/27週)と比較してやや落ち着いた販売状況となっており、次週以降の状況を注視してゆく必要がある。

・今後は北海道の生産量がピークとなる5月下旬～6月初旬に一段と厳しい需給状況が予想されるため、処理不能乳が発生しないように、国の支援策を活用した上で、気を緩めることなく業界で一致協力した需給調整、消費拡大に対する強力な取り組みを継続してゆくことが重要である。

【訂正】4/27週の販売速報の数値について一部修正となっております(以下に修正値を記載しております)。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年2月～)の動向(表①参照)

・直近(5/4週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同118.8%、成分調整牛乳：同108.6%、加工乳：同101.2%、乳飲料：同109.1%。

・牛乳類トータルでは同115.9%と前年を大きく上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.4円、成分調整牛乳：175.1円、加工乳：181.5円、乳飲料：151.0円。

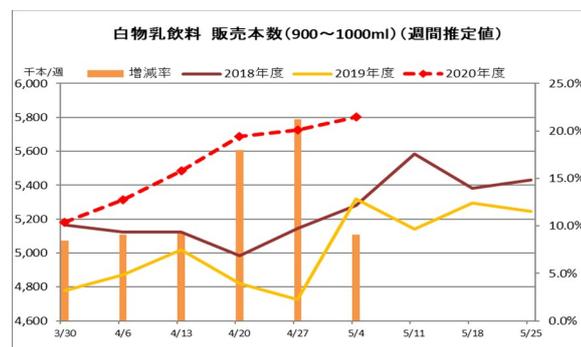
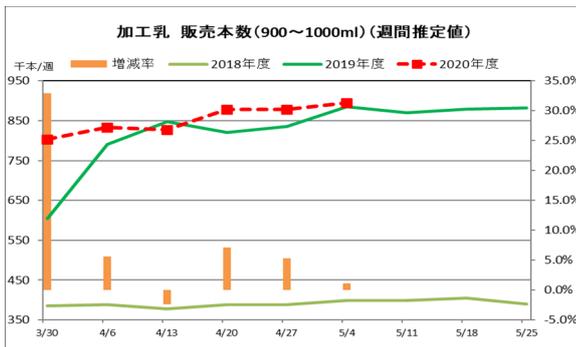
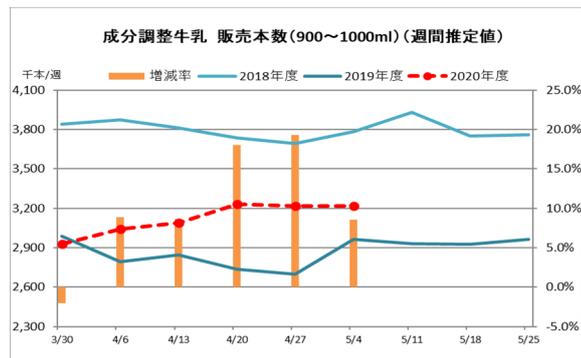
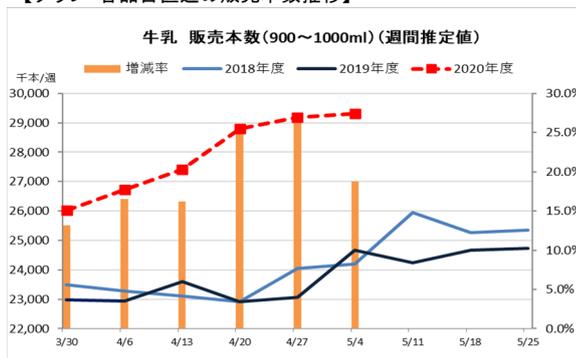
(2)前年比では前週(4/27週)より落ち着いた印象であるが、販売個数自体は牛乳類トータルで微増となっており、引き続き堅調に推移している。

※出典 ㈱インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	4.27-(修正値)	5.4-
トータル	販売個数	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935	35,917	36,813	38,603	39,017	39,030	39,227
	販売個数前年比	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4	114.0	123.4	124.6	124.6	115.9
	販売単価	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5	182.7	183.0	183.3	183.3	183.1
牛乳	販売個数	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729	27,412	28,809	29,192	29,199	29,316
	販売個数前年比	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5	116.2	125.8	126.6	126.6	118.8
	販売単価	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1	189.9	190.1	190.3	190.5	190.5	190.4
成分調整牛乳	販売個数	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040	3,090	3,230	3,219	3,224	3,215
	販売個数前年比	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8	108.6	118.0	119.3	119.5	108.6
	販売単価	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2	173.5	173.4	174.1	175.0	175.0	175.1
加工乳	販売個数	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834	827	879	879	879	895
	販売個数前年比	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5	97.6	107.0	105.3	105.3	101.2
	販売単価	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6	184.1	184.7	183.6	182.6	182.6	181.5
乳飲料	販売個数	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313	5,485	5,686	5,727	5,728	5,801
	販売個数前年比	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1	109.3	118.0	121.2	121.2	109.1
	販売単価	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3	150.9	151.5	151.3	151.3	151.0

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年2月～)の動向(表②参照)

直近(5/4週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70～130ml):同95%以上、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要等によって堅調に推移してきたが、ゴールデンウィークの直近(5/4週)については、牛乳類と同様に前週(4/27週)より落ち着いた販売状況になり、**個食タイプについては前年割れとなっている。**

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-
ドリンクタイプ	⇒	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	⇒
個食タイプ	↘	⇒	↻	↘	⇒	⇒	⇒	↻	↻	⇒	↻	↑	↘
大容量タイプ	↘	↘	↑	⇒	↻	↻	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑

	:前年比90%未満
	:前年比90%以上100%未満
	:前年比100%以上105%未満
	:前年比105%以上110%未満
	:前年比110%以上120%未満
	:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・新型コロナウイルス関連情報について(JミルクHPに掲載しております)

<https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb40000003azz.html#hdg1>

・牛乳を贈る助け合いプロジェクト「#COWエール」をホクレンが5/12(火)より開始

ホクレン農業協同組合連合会HP:<https://www.hokuren.or.jp/news/detail.php?id=621>

・日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」

農林水産省は、酪農家を支えるため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を4月21日より開始した。

農林水産省HP:https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/dairyinfo_corona.html

メッセージ動画「牛乳乳製品課からのお願い」(外部リンク:YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=NIIPhHst-nU>